

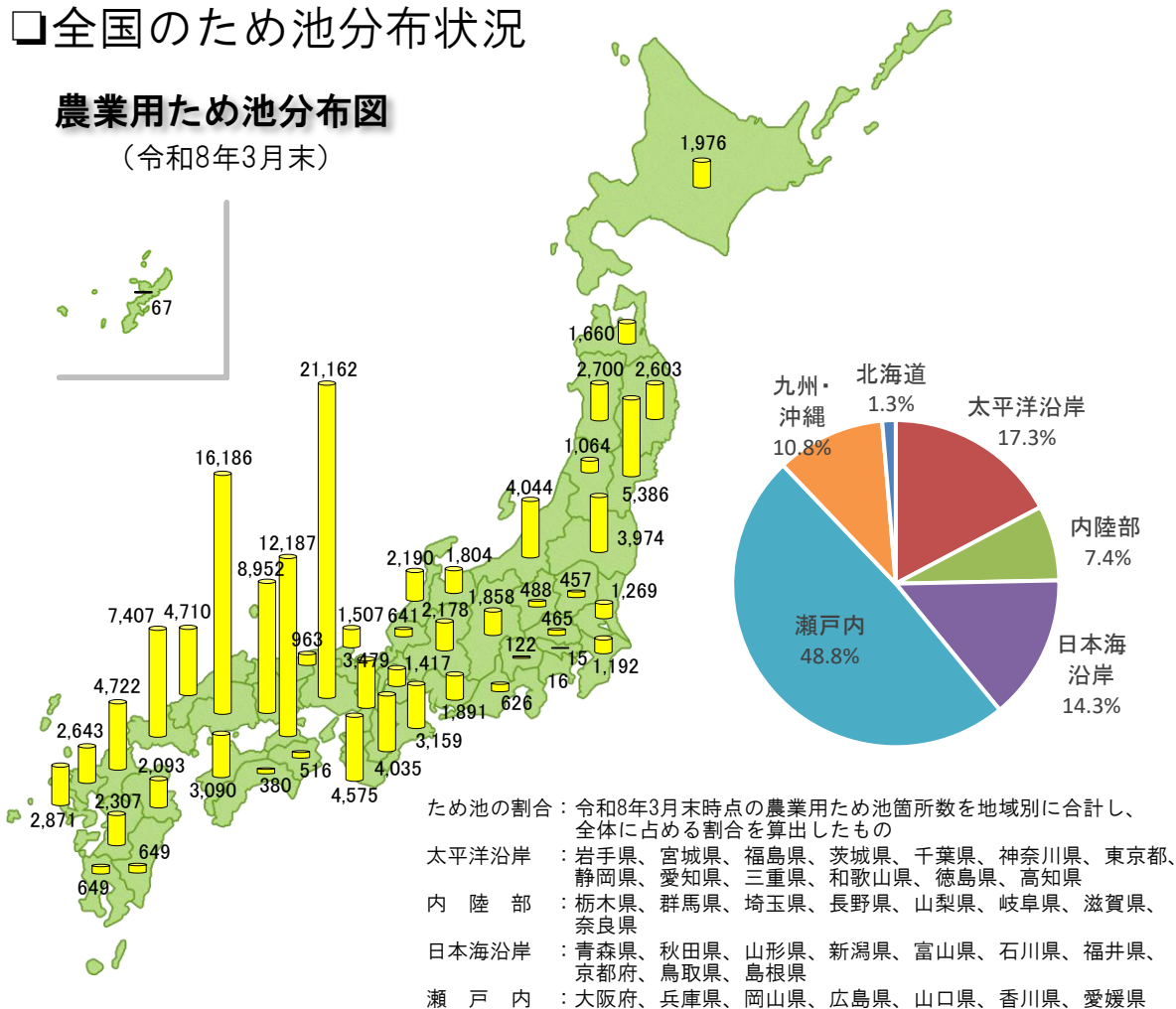
農業用ため池とは

- ・ 降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池のことです。
- ・ 農業用ため池は全国に約15万箇所存在し、西日本を中心に全国に分布しています。
- ・ 瀬戸内地域は年間を通じて降水量が少ないことから、古くから農業用ため池が築造され全国の約5割が存在しています。

□全国のため池分布状況

農業用ため池分布図

(令和8年3月末)



箇所数順					
1	兵庫県	21,162	25	愛知県	1,891
2	広島県	16,186	26	長野県	1,858
3	香川県	12,187	27	富山県	1,804
4	岡山県	8,952	28	青森県	1,660
5	山口県	7,407	29	京都府	1,507
6	宮城県	5,386	30	滋賀県	1,417
7	福岡県	4,722	31	茨城県	1,269
8	島根県	4,710	32	千葉県	1,192
9	和歌山県	4,575	33	山形県	1,064
10	新潟県	4,044	34	鳥取県	963
11	奈良県	4,035	35	宮崎県	649
12	福島県	3,974	35	鹿児島県	649
13	大阪府	3,479	37	福井県	641
14	三重県	3,159	38	静岡県	626
15	愛媛県	3,090	39	徳島県	516
16	長崎県	2,871	40	群馬県	488
17	秋田県	2,700	41	埼玉県	465
18	佐賀県	2,643	42	栃木県	457
19	岩手県	2,603	43	高知県	380
20	熊本県	2,307	44	山梨県	122
21	石川県	2,190	45	沖縄県	67
22	岐阜県	2,178	46	神奈川県	16
23	大分県	2,093	47	東京都	15
24	北海道	1,976			
				148,345	

(農林水産省農村振興局整備部防災課調べ 令和8年3月末)